

もくじ

「胃ろう」とは	1
「胃ろう」にすると	1
「胃ろう」の手術とは?	1
「胃ろうチューブ」の種類	3
「半固形流動食短時間摂取法」とは何でしょう?	4
「液体の栄養剤を注入する方法」と「半固形流動食短時間摂取法」との違い.....	4
実際に「半固形流動食短時間摂取法」を 行っている家族が考えるメリットとデメリット	5
半固形流動食短時間摂取法の実際	7
ミキサー食の実際	11
ミキサー食レシピ	12
ケトンミキサー食レシピ	16
ママたちから寄せられた、その他お勧めレシピ、食材などなど	18
ママたちから寄せられたQ & A	19
みなさんから寄せられた声	22
胃ろうプロフィール用紙（記入例）	23
胃ろうプロフィール用紙	24
あとがき	25



Ⅱ 「胃ろう」とは

胃ろうとは、お腹の表面から胃まであけられた小さな穴のことです。ここにチューブを入れて栄養剤やミキサー食、お薬を直接胃の中に注入することができます。

胃ろうがあれば、摂食嚥下障害でお口から食事が出来なくても、栄養剤や、家族と同じ食事を、チューブを通して摂ることができます。



Ⅲ 「胃ろう」にすると

鼻から入れたチューブでは注入することのできなかった半固形食（ミキサー食など）を入れることができるようになります。

また、鼻から入れたチューブはチューブの先が顔に長くぶら下がってしまいますが、胃ろうは服の中にかくれるので、普段は外からは見えません。また、チューブでのどが刺激されることがなくなるため、ゼコゼコすることも少なくなります。つまりやすい細いチューブの煩わしい管理から解放され、顔を邪魔するものがなくなります。



胃ろう造設前

お顔にはいつも
注入チューブが
ありました



胃ろう造設後

お顔がすっきり
しました

Ⅳ 「胃ろう」の手術とは?

こどもの胃ろうの手術は全身麻酔で行います。手術の方法にもよりますが、切るのは2~3cmです。手術そのものは30分程度で終わりますが、手術室にいるのは1時間から1時間30分位です。出血はほとんどありません。

手術の後の傷の痛みは薬で和らげることができます。手術の翌日から、胃ろうからの注入を始めます。少しずつ注入量を増やしていき、胃ろうから必要な水分と栄養がとれるようになったら点滴を抜きます。

ご家族には胃ろうのケアや注入の仕方を看護師と一緒にやりながら覚えていただきます。退院までの間、胃ろうの管理やケアに自信が持てるようになるまで、看護師や医師になんでも聞いてください。



術後1週間